

地域や事業所・保護者の皆様へ

中学生の「職場体験活動」Q & A

～「まえばし キャリア・スタート・ウィーク」(職場体験活動) 参考資料～

Q1 「職場体験活動」とは、どんな学習ですか？

職場体験活動は、実社会で働く人と関わりながら「仕事」を通して様々なことを学ぶ機会であり、キャリア教育の視点からも重要な役割を果たすものと位置付けられています。

「キャリア教育」とは、社会的・職業的自立の基盤となる力を身に付けることを目的とする教育のことです。

この「社会的・職業的自立の基盤となる力」とは、例えば、以下のようことができるための資質や能力と考えています。



人間関係を築いたり、調整したりする
自分の役割を理解し、しっかりと責任を果たす
情報を活用して課題を見つけ、計画的に対応する
働くことの目的や意義を理解し、生き方を考える など

Q2 職場体験の目的、ねらいは何ですか？

キャリア教育の実践の場として、職場体験を次のように位置付けています。

- ①『社会人としての基本的なマナーや時と場に応じた言葉遣い』を体験する場
- ②働く大人と接し、異世代とのコミュニケーション能力や豊かな人間関係を築く場
- ③仕事に従事している方から、話を伺ったり、仕事を体験したりして、『仕事を行う上での心得』を学ぶ場
- ④体験を通して『責任感・根気・積極性』等の心の大切さを学ぶ場
- ⑤作業等を通して、『その職業の実務内容』を体験する場 など

職場体験では、日常生活とは異なる「人」と実際の仕事を通して関わることを大切にします。その中で、「社会」で生きていくために必要なことを考え、自分を見つめ直すことをねらっています。

Q3 将来、就きたい仕事や職場でなければ、職場体験はできませんか？

どこであっても、職場の人との関わりの中で仕事をするにより、職場体験活動のねらいは、十分に達成できるものと考えます。

もちろん、具体的な将来の目標に合った職場での体験も貴重ですが、自分の夢や希望と、仕事や職場が一致しなくても、「職場体験で何を学ぶか」について、本人がしっかりと意識していれば、価値ある体験ができると思います。



Q4 「職場体験」では、どんなことをするのですか？

それぞれの仕事や職場によって体験する具体的な作業や内容は違ってきます。しかし、どんな仕事にも共通することもあります。その共通することこそが、働く上で大切なことにつながる貴重な体験になります。



Q5 3～5日間のスケジュールは決まっているのですか？

3～5日間の活動スケジュールに決まりはなく、仕事内容に応じて設定されますが、参考までに、業種ごとに分けて活動例を示します。

【業種別のプログラム（勤労体験5日間の例）】 ※事業所の実情に合わせて、勤労体験を1～3日間

日程	販売業等	部品製造業等	幼稚園（学校）等
事前体験	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れ先への挨拶。体験実施の注意事項（服装や心構え等）や仕事内容の確認等 ※電話やWeb会議システムでも可 		
一 勤労体験日	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション（安全確認等） 店舗内案内 挨拶、接客のマナーの講習 清掃 在庫整理 報告・反省会 等 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション（安全確認等） 社内案内 製品、製造工程の説明 挨拶、態度、返事の指導 商品の取扱、留意点指導 報告・反省会 等 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション（幼児への対応の仕方等） 園内案内 担当教諭の紹介 受け持ち学級の観察 遊び(粘土)の指導補助 報告・反省会 等
二 勤労体験日	<ul style="list-style-type: none"> 安全確認 清掃 在庫整理 商品のパック詰め作業 ラベル貼り作業 レジの手伝い 接客 等 	<ul style="list-style-type: none"> 安全確認 清掃 製品の箱詰め作業 出荷準備の手伝い 報告・反省会 等 	<ul style="list-style-type: none"> 打合せ、幼児の観察 絵本の読み聞かせ体験 昼食指導 遊びの指導補助 清掃、教材準備 報告・反省会 等
三 勤労体験日	<ul style="list-style-type: none"> 安全確認、清掃 商品チェック、品出し作業 レジのアシスタント 接客 報告・反省会 等 	<ul style="list-style-type: none"> 安全確認 清掃 製造工程作業補助 製品チェック作業補助 報告・反省会 等 	<ul style="list-style-type: none"> 打合せ、幼児の観察 歌やゲームの指導補助 製作活動の指導補助 昼食指導 遊び指導補助 報告・反省会 等
事後体験	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れ先へのお礼。職業に関する質問、体験から学んだこと、感想等体験のまとめ ※電話やWeb会議システムでも可 		

Q6 学校では、職場体験までに、どんな指導をしていますか？

具体的な時期や活動は、学校により異なりますが、おおよそ次のような内容は共通で扱われています。

中学校1年から職場体験までに

- ・ 職業について調べる
- ・ 自分の適性を考える
- ・ 他者との協力、集団での活動を
経験する 等

特に職場体験の前には

- ・ 職場体験の目標を決める
- ・ 言葉遣いやあいさつを練習する
- ・ 職場への往復や仕事中の安全の
確認をする 等

Q7 職場体験の際、子供たちにどのように対応すればよいですか？

事業所では、はじめの打合せで仕事内容や心構えをよく伝え、「お客様」扱いにならぬようお願いします。はじめは、挨拶や礼儀を含めて、具体的に「何をするか」「何をしてはいけないか」を伝えていただくとよいと思います。分からないことは必ず質問したり、作業の報告をきちんとさせたりして、簡単なことでもよいので自分の「仕事」をしっかりやり遂げられるようご指導ください。



家庭では、職場体験の目的を一緒に確認するとともに、その日の職場での話を聞いてください。慣れない環境、初めての経験で緊張し、愚痴もあるかもしれませんが、がんばりを認めたり、任された「仕事」の意味を話し合ったりし、励ましの言葉かけをお願いします。

Q8 職場体験に関わる費用はどこが負担しますか？

職場体験は、事業所の御好意により実施していただいております、体験そのものに関わる費用はありません。

ただし、弁当代や交通費等の費用は、原則として自己負担となります。その場合、学校を通して確認します。

また、保険に関しては、賠償保険（他人にけがをさせたり、ものを壊してしまったりしたときに対応）を市費でかけています。本人のケガについては、スポーツ振興センターの給付金で対応します。

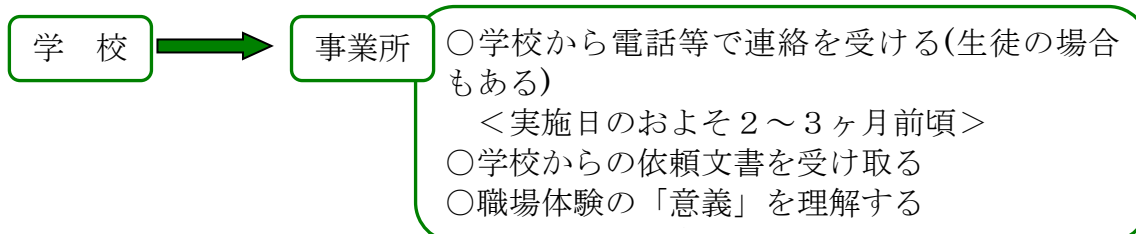
Q9 職場体験を受け入れる際、どことどんな連絡をすればよいですか？

次頁資料『「職場体験活動」の実施の流れ』を参照してください。

「職場体験活動」の実施の流れ（例）

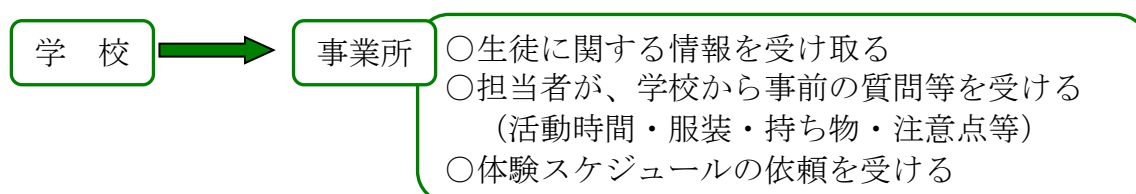
1 中学校から各事業所等に職場体験の依頼があります。

（教育委員会や経済団体等から企業・事業所等へ依頼する場合があります）

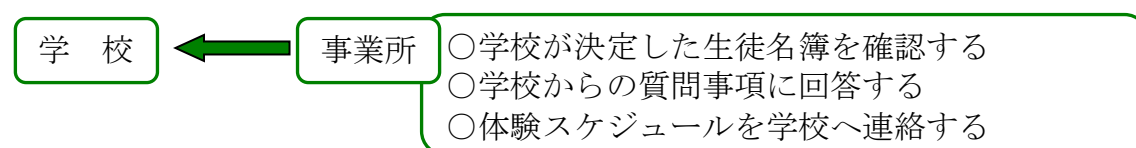


2 依頼された事業所等から、中学校に承諾の連絡をします。受け入れ体制を作る。

3 中学校から、詳細な情報が送られてきます。



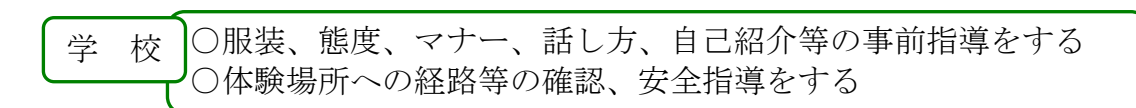
4 中学校からの情報の確認と依頼事項の回答を行ってください。



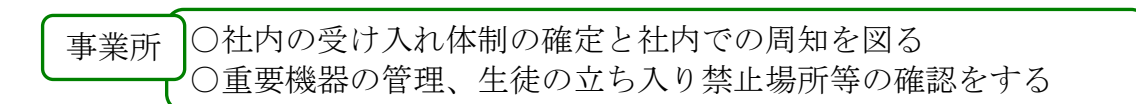
※事前の打ち合わせを実施し、中学校と事業所等との間で十分な情報交換をしてください。

5 中学校では、生徒に対し安全面や社会性・マナーについて重点的に事前指導します。

（事前に指導しておく内容がある場合には、事業所等から学校へ依頼してください）



6 事業所等は受け入れ準備を行い、体制を整えてください。



7 職場体験の実施

○事前に生徒が訪問する場合があります。生徒の意識が高まるような対応をお願いします。

○働くことの大切さが実感できるように、厳しく指導してください。

○事後に礼状、アンケートや生徒の評価の記入、事後報告会への参加依頼等があります。

（可能な場合は、協力をお願いします）

※中学校により、流れが若干異なることもあります。

中学生の「職業講話・体験活動」Q & A

～「まえばし キャリア・スタート・ウィーク」(職業講話・体験活動) 参考資料～

Q1 「職業講話・体験活動」とは、どんな学習ですか？

職業講話・体験活動は、地域で働く人から職業の話を知ったり、生徒から質問したりすることにより、地域に存在するあらゆる分野の職業を知ってもらいます。生徒に職業観や自らの将来像のイメージを学ぶ機会であり、キャリア教育の視点からも重要な役割を果たすものと位置付けられています。

Q2 「職業講話・体験活動」では、どんなことをするのですか？

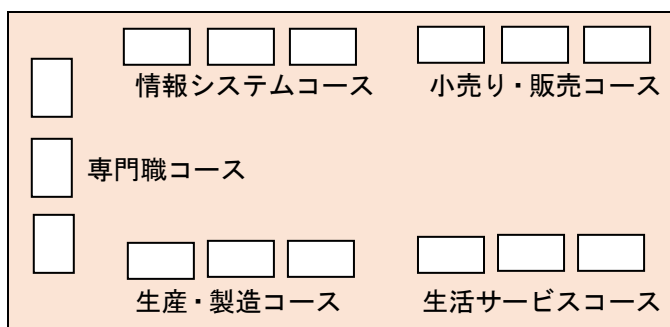
地域で働く人から、職業の内容や仕事のやりがい、その職業に必要なと思う学校の勉強を教えてください。必要だと思う勉強を教えてください。今の勉強がどれだけ将来の職業につながっているのかを理解し、勉強の意義や必要性に気付けるようにします。また、これまでの生き方や、失敗や挫折をどうやって乗り越えてきたかをお話いただくことで、生徒に経験の大切さを理解できるようにします。

Q3 「職業講話・体験活動」は、どのようにするのですか？

<例1 ブース体験型>

職業についてはコースごとに分類し、体育館などにブースをつくります。生徒は各ブースを決められた時間でまわり、地域に存在するあらゆる分野の職業を学びます。

体育館など(コースは例)



左の図のように、当日は体育館などに机を並べて、コースごとにブースをつくります。

1つのブースに一人以上の地域で働く人がつくようにします。

<例2 全体講話型>

体育館などで、職業ごとに順番に地域で働く人から講話をしてもらいます。生徒は各講話を聞くことで、地域に存在するあらゆる分野の職業を学びます。

<例3 オンライン対話型>

各教室等の大型モニタを利用し、Web会議システムを通して地域で働く人から話を聞いたり質問したりして、地域に存在するあらゆる分野の職業を学びます。